



2023年3月22日

各位

会社名 イオンモール株式会社
(コード番号:8905 東証プライム市場)
代表者名 代表取締役社長 岩村 康次
問合せ先 戦略部長 久富 圭介
電話番号 043-212-6733

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年4月7日に公表いたしました2023年2月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2023年2月期通期連結業績予想数値の修正(2022年3月1日～2023年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 404,000	百万円 55,500	百万円 45,500	百万円 23,000	円銭 101.07
今回発表予想(B)	398,200	43,900	36,400	12,900	56.69
増減額(B-A)	△5,800	△11,600	△9,100	△10,100	-
増減率(%)	△1.4%	△20.9%	△20.0%	△43.9%	-
(ご参考)前期実績(2022年2月期)	316,813	38,228	32,540	19,278	84.72

2. 理由

当連結会計年度において、新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」)の拡大に伴う影響として、国内ではお客さまの外出自粛に伴う消費トレンドの低迷、中国ではゼロコロナ政策に基づく厳しい行動規制による臨時休業等の影響を大きく受け、国内および中国の売上はいずれも期初計画に対して乖離が生じました。費用面では、国内における電気料金高騰等による計画超過もあり、その結果、営業収益、営業利益、経常利益は上記の通り予想数値を下回る見通しとなりました。

また、中国の一部モールにおいて、新型コロナ影響等による収益悪化及び、世界的な金利上昇により減損判定時に使用する割引率が上昇したことに伴い、減損損失27億円を計上する見込みとなり、親会社株主に帰属する当期純利益が予想数値に対して上記の通り乖離する見通しとなったことから修正を行うものです。

なお、足元の主要各国の売上状況は、国内では2023年3月13日以降マスク着用が個人の判断となる等、ウィズコロナへの移行に伴い消費行動が活発化しており、当社モールの売上トレンドはゆるやかに改善してきております。中国では2022年12月7日以降ゼロコロナ政策が緩和され、ウィズコロナ下で経済活動および消費行動が急速に活発化しており、当社モールの売上トレンドは新型コロナ前(2019年度)対比で2桁水準の成長軌道に回復してきております。ベトナムでは2022年度に引き続き高い売上成長を継続しております。

(注)本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上